

# 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さま方におかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は本会の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は改元が予定されるなど、新たな時代の幕開けとなる年であるとともに、スポーツ界では、ラグビーワールドカップの決勝戦がこの神奈川の地で開催されるなど、本県に世界中から多くの方々を訪れることが見込まれています。

さて、昨年を振り返りますと、いろいろなことがございました。中でも、日本各地で災害に見舞われ、過去の経験が通用しないと言われた台風もありましたし、各鉄道会社では首都圏初の計画運休等もありました。地震は大阪北部にも起こり、北海道でも発生するなど想定外なこともありました。本会では、「平成30年7月豪雨」による西日本での災害において、県下市町村社協の協力をいただきながら、被災された広島県内へ職員を派遣し支援いたしました。

災害が起こるたび、人々の支え合い、助け合いの大切さが脚光を浴びますが、その大切さは本来、どんな状況でも必要になるものです。本県では「ともに生きる社会かながわ憲章」が制定され、障害者理解を進め、あらゆる人々が住みやすい社会となることを目指していますし、また、国でも地域共生社会の実現が謳われております。いずれも共通には、支え合い、助け合いの地域づくりが期待されています。

そのような中、本会では「住民の主体的参加と様々な主体との協働による誰もが安心して生活できる地域づくりの推進」を基本理念として、皆さま一人ひとりのお力添えを賜りながら、役員一丸となって着実に歩みを進めてまいります。また、現在、鋭意進めております「神奈川県社会福祉センター（仮称）」（横浜市神奈川区桐畑）の整備につきましても、センターが本県における地域福祉の推進拠点として、一層充実するよう努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力、ご参加を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

会長 篠原 正治

## 「支え合う」地域づくりをめざして「基金を活用した取り組み

本会では、「ともしび基金」をはじめ、「かながわ交通遺児援護基金」「かながわ子ども福祉基金」への寄附金とともに、さまざまな物品の寄贈等、多くの皆さまより地域福祉の推進に向けたご支援・ご協力をいただいております。

福祉活動への参加の形は多様ですが、寄附や寄贈も大切な形の一つです。本号では各種基金の活用状況のご報告をするとともに、昨年12月に「寄附をいただいた皆さまをご紹介します。」

### ■地域福祉活動の充実

#### 「ともしび基金」

昭和52年に「ともに生きる福祉社会づくり」の推進を目的に創設され、県民の皆さまからの温かい支援により、平成30年3月末現在で基金保有額は23億2526万円となりました。

福祉意識の普及啓発やボランティア活動への支援、障害のある方への社会参加の促進や地域福祉の推進を目的とした活動への助成等、「ともしび基金」から生まれる果実（利子）はさまざまな形で活用されています。活用の一つとして「地域福祉活動支援事業」による助成があります。当事者組織や広域的なボランティアグループ、市町村域の福祉関係者からなるグループ等による住民主体の

支え合い活動に係る経費の一部を対象とする「一般助成」では、本年度31団体の活動に助成を行いました。

また、本年度より本会と協働すること、より相乗効果が期待できる公益的、先駆的事業に対する「協働事業助成」を新設し、2団体に助成しました。

そこで、ともしび基金を活用した「地域福祉活動支援事業（一般助成）」と「ともしびショップ」の運営に対する支援の取り組みを次にご報告します。

### ●地域福祉活動支援事業（一般助成）

#### 「みんなのいい場所会議（真鶴町）」

助成を行った団体の一つ「みんなのいい場所会議」では、子どもの居場所づくりを通して、地域の誰もが参加できる機会の提供や多世代のつながりをつくることともに、子どもたちを取り巻く問題に気づき、解決につながるサポートをすることで、子どもが地域で育つための、より良い環境づくりを目的に活動しています。

主な活動として、まなづる小学校近くのコミュニティ真鶴を拠点に、毎週火曜午後2時～午後5時（12月より毎週日曜に活動日を変更）に、子どもたちが安心してほっと過ごせる日常の居場所「小さい鶴」を開所しています。

《ある日の様子》

「ナカちゃん、ただいま〜！」と学校を終えた子どもたちが、明るい笑顔で元気に集まってきました。



子どもたちが気軽に立ち寄れるように、「ウェルカムキャンディー」を縁側で配るナカちゃん(左)

子どもたちから「ナカちゃん」の愛称で呼ばれる代表の中村さんは、会を立ち上げたきっかけを「さまざまに「孤立する子ども」に強く課題意識を持ったこと、そして自分が子育てに悩んでいたとき、辛い気持ちに寄り添ってくれた人に救われたことと振り返り、「助けを求めめる人が気軽に訪ねて来られるよう、必ず受け入れられることを大切に、地域社会に恩返ししたい」と活動への抱負を語られました。

「今後も関係機関と連携してネットワークを広げ、支援者を増やし、細くても長く活動を続けていきたい」とのこと、会では活動の趣旨に賛同してくださる方を募集中です。

中村さんの熱意と行動力を持った

温かみのある人柄が、たくさん子どもたちの「明るい笑顔」を引き出していました。

【ともじびショップ「なのはな」】

障害のある方が働くことを実感し、仲間や地域の方々とのふれあいを通して、自立と社会参加を実現するために、平成22年8月に二宮町社協を経営母体とし、町民センターにオープンしました。

今年で9年目を迎える「なのはな」ですが、毎年1月から2月に行われる町観光協会主催の「菜の花ウォッシング」では、模擬店を出店し、二宮町を訪れた人に温かい甘酒や豚汁を振る舞うおもてなしをしています。



食欲をそそるランチメニュー

ここで働くスタッフの1人は、将来、喫茶店を開くのが夢で、ともじびショップで日々勉強をしています。「みんなと一緒に作業をすることが楽しくて、毎日、一生懸命仕事をしています」と、嬉しそうに語られます。看板商品の「日替わりランチ」は全て手作りの人気メニューで、ス

タッフ全員で新メニュー考案に取り組んでいます。

■子どもたちの自立のために

【かながわ交通遺児援護基金】

交通事故等による20歳未満の遺児とその世帯を支援する「かながわ交通遺児援護基金」では、①小・中・高校入学・卒業時の激励金、②労災見舞金を受けていない世帯に対する見舞金、③関係団体活動費の助成のほか、関係団体と協働しながら、夏休み親子交流会、コンサート招待の交流事業等を実施しています。

平成29年度に県民の皆さまや企業等から寄せられた21件の寄附金は、遺児らへの激励金44件、見舞金6件とともに、基金の利子と合わせて交流事業や関係団体への助成金等に活用させていただきます。

【かながわ子ども福祉基金・

萬谷児童福祉基金】

さまざまな理由により親とともに生活することができず、県内の児童養護施設等や里親のもとで生活している社会的養護を必要とする子どもたちを対象とした支援を行っています。

「かながわ子ども福祉基金」は、①私立幼稚園への入園や私立高等学校等へ入学する際の奨励金、②民間アパートに初めて入居する際の自立支援金等に活用されています。平成29年度までに奨励金は延べ1509件

(幼稚園453件、高校等1056件)、自立支援金は延べ111件になりました。

「萬谷児童福祉基金」は、故・萬谷富子氏から「児童養護施設を終えた者の進学又は自立の援助に」と遺贈された寄附をもとに、平成19年に創設されました。現在、基金は利子のみで運用されており、社会的養護のもとで育つ子どもたちを対象に、4年制大学、短期大学、専門学校等へ入学する際の支度金の支援を行っています。そして平成29年度までに延べ99人を支援するという実績を上げています。

\* \* \* \* \*

このような各種基金に対する寄附金に加えて、福祉サービス利用者の送迎等に利用される福祉車両や暑い季節のアイスクリーム、年末のクリスマスケーキ、さらにミュージカルやサーカス、プロ野球観戦等への招待等、たくさんの方々から温かいご支援をいただいています。それらは高齢者・障害者・児童福祉施設利用者その他、生活困窮世帯に対する支援として、それぞれの充実した生活環境づくりに活かされています。

本会では今後も、こうした寄附者の皆さまの意向を大切にしていきたいと思います。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

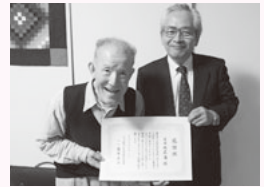
(地域福祉推進担当)

＊ ＊ご寄附いただいた皆さま（12月） 温かいご支援に感謝申し上げます＊ ＊

【ともしび基金】

（いずれも順不同、敬称略）

▽延命地蔵講▽脇隆志▽太平館▽第二常盤湯▽川崎南部浴場商業協同組合▽喜久の湯▽中島湯▽小倉湯▽中村浴場▽清水湯▽よねの湯▽いなり湯▽ファミリーアイランドさくらゆ▽ともしびショップ県民センター店▽ともしびショップ県庁店▽ともしびショップスマイル▽ともしびショップマリン▽ともしび喫茶あーす▽ともしびショップゆめ散歩▽ともしびショップさくら▽ともしびショップなのはな▽(福)湘南アフタケア協会▽(福)湘南福祉協会総合病院湘南病院▽(福)神奈川県社会福祉事業団横須賀老人ホーム▽(公財)積善会介護老人保健施設リバーイースト▽かながわアートホール指定管理者(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団▽(福)大井町社会福祉協議会▽(福)茅ヶ崎市社会福祉協議会▽(福)箱根町社会福祉協議会▽(公財)十愛会十愛病院▽県警川崎市警察部▽県警高速道路交通警察隊・2中6小隊▽県警鉄道警察隊▽県警第二交通機動隊▽秦野警察署▽浦賀警察署▽三崎警察署▽旭警察署▽戸部警察署▽幸警察署▽山手警察署▽川崎警察署▽藤沢警察署▽横須賀警察署▽逗子警察署▽相模原警察署▽海老名警察署▽宮前警察署▽大磯警察署▽港北警察署▽相模原南警察署▽中原警察署▽金沢警察署▽港南警察署▽葉山警察署▽大和警察署▽戸塚警察署▽茅ヶ崎警察署▽多摩警察署▽川崎臨港警察署▽神奈川警察署▽青葉警察署▽米警察署▽南警察署▽藤沢北警察署▽麻生警察署▽大船警察署▽伊勢原警察署▽神奈川警察学校▽県立横須賀高等学校▽県立高津養護学校▽県立相模原養護学校▽県立茅ヶ崎養護学校▽県立中井やまゆり園▽県立さがみ緑風園▽県立かながわ農業アカデミー▽小田原保健福祉事務所足柄上センター▽環境科学センター▽自然環境保全センター▽鎌倉保健福祉事務所三崎センター▽東部漁港事務所▽緑県税事務所▽神奈川県税事務所▽小田原県税事務所▽戸塚県税事務所▽横須賀三浦地域県政総合センター▽県立生命の星・地球博物館▽温泉地学研究所▽県立循環器呼吸器病センター▽県立よこはま看護専門学校▽神奈川県障害者雇用促進センター▽横浜川崎治水事務所▽厚木土木事務所東部センター▽(一社)かながわ土地建物保全協会▽神奈川県住宅供給公社▽(公財)神奈川県身体障害者連合会▽(福)神奈川県総合リハビリテーション事業団▽神奈川県手をつなぐ育成会▽(公財)神奈川県老人クラブ連合会▽(福)神奈川県共同募金会▽神奈川県ゆりの会▽神奈川県知的障害者施設団体連合会▽神奈川県医療福祉施設協同組合▽(公社)神奈川県社会福祉士会▽(特非)神奈川県障害者地域作業所連絡協議会▽(公財)神奈川県福利協会▽(特非)神奈川県ホームヘルプ協会▽(一社)やまゆり知的障害児者生活サポート協会▽(一社)神奈川県高齢者福祉施設協議会▽(一社)神奈川県保育会▽神奈川県保育士会▽神奈川県交通遺児家庭の会▽神奈川県心身障害児者父母の会連盟▽(特非)フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会▽神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会▽県本庁職員一同▽県警本部職員一同▽県社会福祉会館募金箱▽かながわ県民センター募金箱▽県社協職員一同



延命地蔵講よりともしび基金へご寄附いただき、延命地蔵講代表者(左)へ感謝状を贈呈

(計：2,586,584円)

【子ども福祉基金】

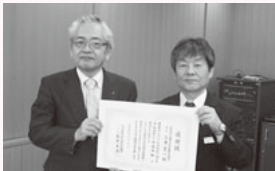
▽(株)エスホケン他1件  
(計：14,050円)

【交通遺児援護基金】

▽神奈川県都市交通安全対策連絡協議会  
▽アズビル(株)  
▽azbilみつばち倶楽部  
▽(株)エスホケン  
(計：285,333円)

【寄贈物品】

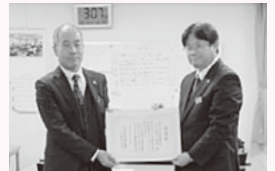
▽川島みどり▽(一社)神奈川県自動車会議所  
▽(特非)日産労連NPOセンターゆうらいふ21▽神奈川トヨタ自動車(株)



(一社)神奈川県自動車会議所より障害者支援施設等へ介護車両を寄贈いただき、御代田晃一専務理事(右)へ感謝状を贈呈



(特非)日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」より県内児童養護施設等へミュージカル公演招待券をいただき、吉坂義正本部長(左)へ感謝状を贈呈



県内児童養護施設等へクリスマスケーキをいただき、神奈川トヨタ自動車(株)黒澤宏康本部長(右)へ感謝状を贈呈

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により皆様の安心と安全を提供致します。防犯カメラや新型【AED】も取扱っております。

**京浜警備保障株式会社**

代表取締役社長 **岡本 誠 一 郎**

本 社 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-8-8 第一川島ビル  
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1528

一般社団法人  
**神奈川県福祉研究会**  
福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理 事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)

同 辻村 祥造(☎045-311-5162)

同 西迫 一郎(☎046-221-1328)

同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい  
デザイン・印刷・ホームページ制作



**きかん印刷**  
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12  
営業部 TEL045(785)1700代 FAX045(784)8902  
制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588  
http://www.kki.co.jp/